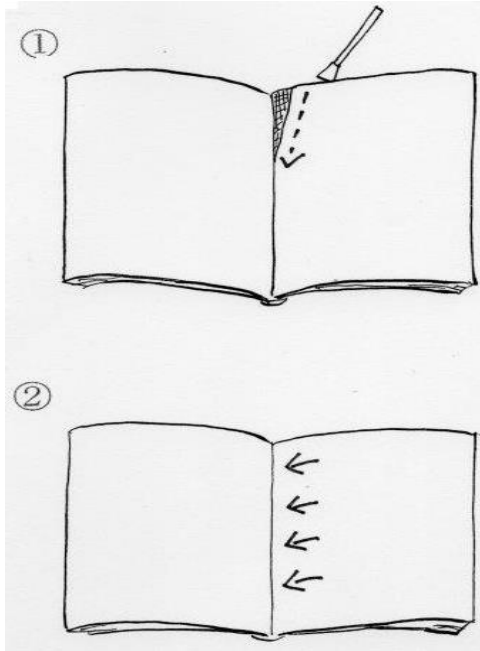


5. ノド割れ

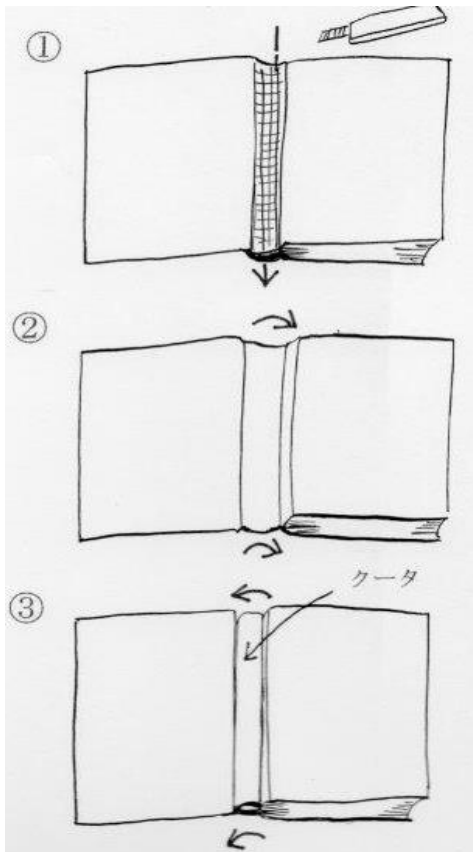
・軽く小さなノド割れの場合、竹串や、ゴムへらを使ってボンドでのりづけする。



①ゴムへらなどでのりづけする。

②はずれかけていた箇所をくっつけて輪ゴムなどで固定する。

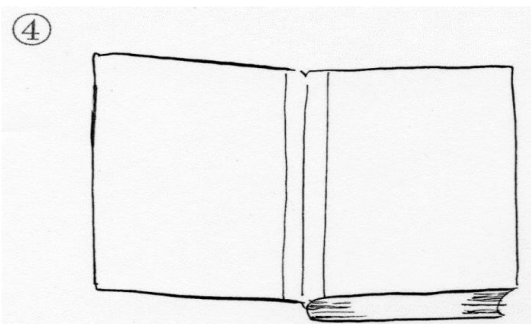
・割れが大きく、背芯などが見えたりする場合、思い切って一度分解する。



①割れているところをカッターで切る。

②背芯が見えるようになる。

③背芯のところにクータを入れ、クータの表と裏を、背につけるようにボンドでのりづけをし、本を閉じ輪ゴムなどで固定して1~2日置いておく。

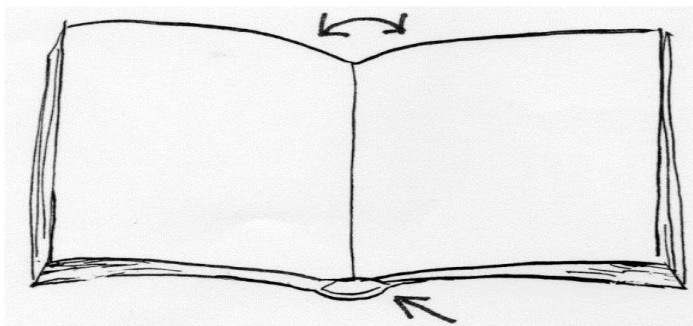


④背の部分がくっいたら、最初に
カッターで切った部分にページヘルパー
をはって補修しておく。

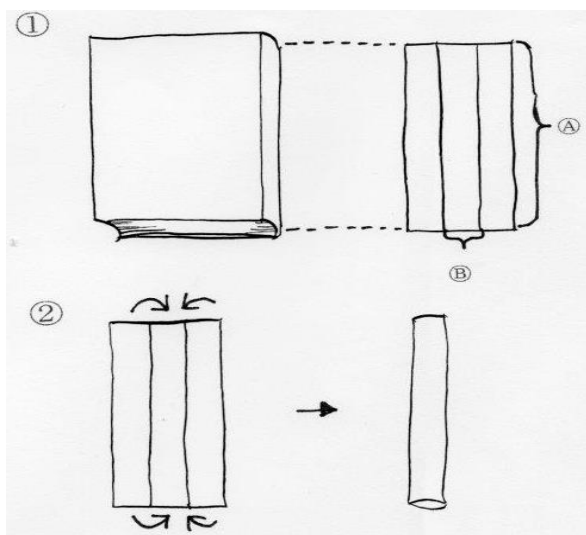


クータとは

本体と背芯のあいだに空間(遊び)を作ることで、本が開きやすく、型がくずれにくくなる。



空間に遊びができ、本が開きやすくなる。



①使用済みの封筒などの紙を使って
つくる。

①Aは本体(中身)の天地の丈、
①Bは背幅よりちょっと小さめに切る。

②三つ折りにしてのりづけする。
中には空間ができるようにしておく。